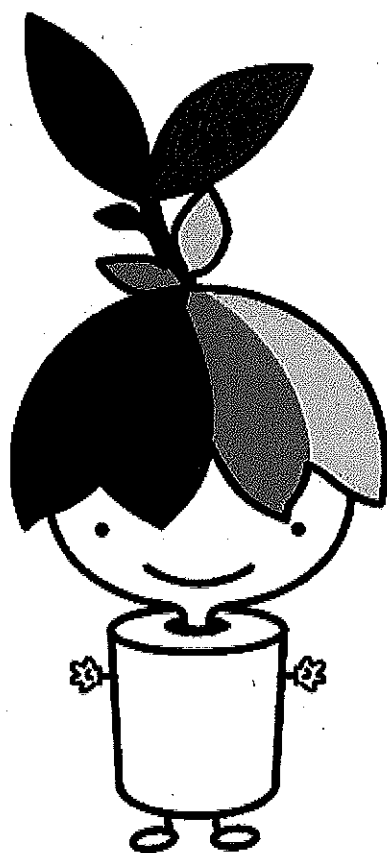


平成27年度

福島県の一般廃棄物処理の状況

(平成28年3月末現在)



リーフィングル

福島県ごみ減量化・リサイクル推進マスコットキャラクター

平成30年3月
福島県生活環境部
一般廃棄物課

目 次

第1編 本編	1
1 福島県の一般廃棄物処理について	2
(1) 平成27年度一般廃棄物処理事業の概要	2
(2) 福島県廃棄物処理計画	5
2 福島県のごみ処理の状況	6
(1) ごみの排出量について	7
(2) ごみの分別数の状況について	11
(3) ごみの処理状況について	12
(4) リサイクル率・資源化率について	14
(5) 最終処分場埋立量について	16
3 福島県のし尿処理の状況	18
(1) 水洗化の状況について	18
(2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について	18
(3) 浄化槽の設置状況について	21
第2編 統計データ編	23
1 平成27年度廃棄物処理事業経費	24
2 平成27年度廃棄物処理事業委託・許可件数	32
3 平成27年度廃棄物処理業者及び従業員の状況	33
4 平成27年度ごみ処理の概要	34
5 平成27年度ごみ搬入量の内訳	38
6 平成27年度ごみ処理量の内訳	45
7 平成27年度資源化量の内訳	48
8 平成27年度ごみ処理手数料の状況(生活系)	52
9 平成27年度ごみ処理手数料の状況(事業系)	60
10 平成27年度ごみの収集運搬体制の状況(生活系)	68
11 平成27年度ごみの収集運搬体制の状況(事業系)	78
12 市町村におけるごみ減量化推進体制整備状況	88
13 市町村における生ごみ処理機(コンポスト容器も含む)普及促進策	89
14 住民団体等による集団回収への援助措置実施状況	92
15 平成27年度一般廃棄物処理施設整備事業一覧(国費による助成事業)	93
16 平成27年度水洗化人口等の状況	94
17 平成27年度し尿処理の状況	96
第3編 資料編	99
1 一般廃棄物処理施設の状況	100
2 市町村廃棄物関係担当課一覧	114
3 一部事務組合一覧	116

第1編 本編

1 福島県の一般廃棄物処理について

(1) 平成27年度一般廃棄物処理事業の概要

ア 計画処理区域

平成27年10月1日現在の福島県の人口は1,966,221人で、ごみ処理及びし尿処理ともに県全域(13,783.74km²)が処理区域となっています。

一般廃棄物処理事業は、市町村及び一部事務組合により行われており、平成28年3月31日現在では、13市31町15村の59市町村、13組合となっています。

イ 一般廃棄物処理事業経費

平成27年度の市町村における一般廃棄物処理事業費は約330億円で、前年度(約269億円)と比較すると約22.6%増加しています。

表-1 平成27年度一般廃棄物処理事業費 (単位:千円)

廃棄物処理事業経費	ごみ処理経費 28,160,369			し尿処理経費 4,850,855		
	建設改良費	処理及び維持管理費	その他	建設改良費	処理及び維持管理費	その他
33,011,224 (26,914,826)	7,279,283 (1,525,429)	19,689,454 (18,931,252)	1,191,632 (1,638,639)	543,076 (938,940)	3,693,215 (3,488,947)	614,564 (391,619)

(注)建設改良費:施設の建設や改良に係る工事費、調査費

処理及び維持管理費:通常の処理に係る人件費、処理費、修繕費、車両等購入費

()の数値は平成26年度実績

ウ 一般廃棄物処理業者数等の状況

平成27年度末現在のごみ処理及びし尿処理を委託又は許可をしている業者数は613、その従業員数は5,198人となっており、前年度と比較すると、業者数、従業員数とも増加しています。

表-2 平成27年度一般廃棄物処理業者数等

県内に主たる事務所を有する事業者				従業員数(人)			
総数	ごみ専業	し尿専業	兼業	合計	収集運搬	中間処理	最終処分
613 (603)	482 (477)	111 (105)	20 (21)	5,198 (5,184)	4,419 (4,399)	755 (772)	24 (13)

(注1)()内は平成26年度実績

(注2)従業員数は、業務の兼務により内訳と合計数が一致しません。

エ 一般廃棄物処理施設設置状況

平成27年度末における稼働中の一般廃棄物処理施設は108施設で、ごみ処理施設が62施設、し尿処理施設が24施設、一般廃棄物最終処分場が22施設

となっており、それぞれの施設整備に当たっては、主に循環型社会形成推進交付金（平成16年度以前は廃棄物処理施設整備費国庫補助金）が活用されています。

表-3 一般廃棄物処理施設設置状況 (平成27年度末現在)

施設種類		施設数	施設能力
ごみ処理施設	ごみ焼却施設	22	2,998 (t/日)
	粗大ごみ処理施設	14	490 (t/日)
	資源化施設	26	312 (t/日)
	小計	62	
し尿処理施設	し尿処理施設	22	2,079 (kℓ/日)
	コミュニティプラント	2	計画処理人口5,540人
	小計	24	
一般廃棄物最終処分場		22	残余容量 992千㎡ 残余年数 15.7年
合計		108	

(注) 残余年数は、残余容量を平成27年度の埋立容量実績(覆土を含む)で除したもの。

オ 一般廃棄物処理手数料の徴収状況

ごみ処理の有料化状況については、資源ごみを除き3割以上の市町村において、また、事業系ごみは6割以上の市町村で有料化が図られています。

また、し尿及び浄化槽汚泥の処理については、収集を行っているすべての市町村（委託を含む）で有料化されています。

表-4 平成27年度ごみ処理有料化の状況

種 類		生活系ごみ (割合%)	事業系ごみ (割合%)
可燃ごみ		21 (35.6%)	51 (86.4%)
不燃ごみ		21 (35.6%)	40 (67.8%)
資源ごみ	紙 (紙パック、紙製容器包装を除く)	0 (0.0%)	15 (25.4%)
	紙パック	0 (0.0%)	15 (25.4%)
	紙製容器包装	4 (6.8%)	14 (23.7%)
	金属	8 (13.6%)	15 (25.4%)
	ガラス	8 (13.6%)	15 (25.4%)
	ペットボトル	8 (13.6%)	15 (25.4%)
	白色トレイ	8 (13.6%)	15 (25.4%)
	容器包装プラスチック	9 (15.3%)	16 (27.1%)
	プラスチック (白色トレイ、容器包装プラスチックを除く)	3 (5.1%)	4 (6.8%)
	布類	0 (0.0%)	1 (1.7%)
	生ごみ	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他収集ごみ		2 (3.4%)	8 (13.6%)
粗大ごみ		18 (30.5%)	31 (52.5%)

(注1) 割合の分母は平成27年度末現在の市町村数で59です。

(注2) 資源ごみの「その他」は、再資源化を目的として収集されるもののうち、他の品目に分類できないものを指し、具体的には廃食油、剪定枝、小型家電等です。

(注3) 「その他収集ごみ」は他の種類に分類できないごみであり、「有害ごみ」や「危険ごみ」などがあります。

表-5 平成27年度し尿及び浄化槽汚泥の処理手数料の状況(単位:市町村数)

種 類	有 料		無 料
	従量・回数制	定額制	
し 尿	38 (64.4%)	5 (8.5%)	0
浄化槽汚泥	40 (67.8%)	3 (5.1%)	0

(注) 割合の分母は平成27年度末現在の市町村数で59です。(他13市町村では、非委託許可業者により、し尿及び浄化槽汚泥の汲み取りが実施されています。)

(2) 福島県廃棄物処理計画

「福島県廃棄物処理計画」については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、平成14年3月に策定し、平成18年3月の見直し後、平成23年3月には平成23年度から5年間の計画期間で策定しました。

その後、廃棄物処理法及び各種リサイクル法等の改正や東日本大震災の発生といった状況の変化を踏まえ、平成27年3月に地球温暖化対策にも配慮した循環型社会形成の取組を強化していくという基本的な考え方の下、東日本大震災以降の廃棄物処理の現況等を反映させつつ、平成27年度以降の新たな廃棄物処理計画を策定しました。

ア ごみ処理に関する課題

- ①ごみの発生抑制や最終処分量の削減を推進するための施策を引き続き実施していくとともに、リサイクル率向上のための施策の充実を図ることが必要です。
- ②既存施設の長寿命化や延命化、地球温暖化対策に配慮した施設への転換や災害への対応を考慮した施設整備、原発事故に伴う避難区域帰還後のゴミ処理体制の再構築が必要です。
- ③大規模な災害発生時の廃棄物処理対策が円滑に進むよう、災害廃棄物処理計画の策定や見直しの検討、ごみの不適正処理防止の普及啓発や不法投棄しにくい環境づくりが必要です。

イ 基本方針

一般廃棄物に関する課題を踏まえ、次の3つの事項を施策の基本方針として取り組んでいくこととします。

- | |
|---------------------------|
| ① 3R（ごみの発生抑制、再使用、再生利用）の推進 |
| ② ごみ処理施設の適切な整備及び維持管理の促進 |
| ③ ごみの適正処理の推進 |

ウ ごみ減量化・リサイクルの目標値（平成32年度における目標値）

県民に分かりやすい目標指標として次のように目標値を設定しました。

- | | |
|------------------|------------|
| ① 1人1日当たりのごみの排出量 | 935g/人・日以下 |
| ② リサイクル率 | 21.0%以上 |
| ③ 1日当たりの最終処分量 | 200t/日以下 |

エ 目標達成のための推進施策

目標を達成するため、次の施策の推進を図ることとします。

① 3R（ごみの発生抑制、再使用、再生利用）の推進

- 意識啓発の推進
- ごみの発生抑制（リデュース）の推進
- 再使用（リユース）の推進
- 再生利用（リサイクル）の促進
- ごみ処理有料化の取組促進

②ごみ処理施設の適切な整備及び維持管理の促進

- ごみ処理施設の長寿命化と延命化
- 廃棄物系バイオマス利活用のための施設設置の促進

③ごみの適正処理の推進

- 災害廃棄物の適正処理の促進
- 不適正処理防止のための環境づくり

2 福島県のごみ処理の状況

平成27年度のごみ処理の状況は次のとおりです。

1 ごみの排出量

(1) 排出量

760,627 (t/年) 【前年度 769,848 t/年】

前年度と比較すると 9,221 t 減少しています。

(2) 1人1日当たりの排出量 【目標値 935 g/人・日以下】

1,057 (g/人・日) 【前年度 1,081 g/人・日】

前年度と比較すると 24 g 減少していますが、目標値と比較すると 122 g オーバーしています。

2 リサイクル率 【目標値 21.0%以上】

13.9 (%) 【前年度 13.9%】

前年度と同率になっていますが、目標値との比較では 7.1 ポイント足りない状況です。

3 最終処分場埋立量

(1) 総埋立量

72,538 (t/年) 【前年度 78,487 t/年】

前年度と比較すると 5,949 t 減少しています。

(2) 1日当たりの埋立量 【目標値 200 t/日以下】

198 (t/日) 【前年度 215 t/日】

前年度と比較し、17t 減少しており、目標値を満たしています。

(1) ごみの排出量について

平成27年度におけるごみの総排出量は760,627 tで、1人1日当たりに換算すると1,057 gとなります。これを全国平均の939 gと比較すると118 g多くなっています。

また、生活系・事業系に分類すると、生活系ごみが548,435 t、事業系ごみが212,192 tと、前年度と比較して、事業系ごみが量・割合とも減少しています。

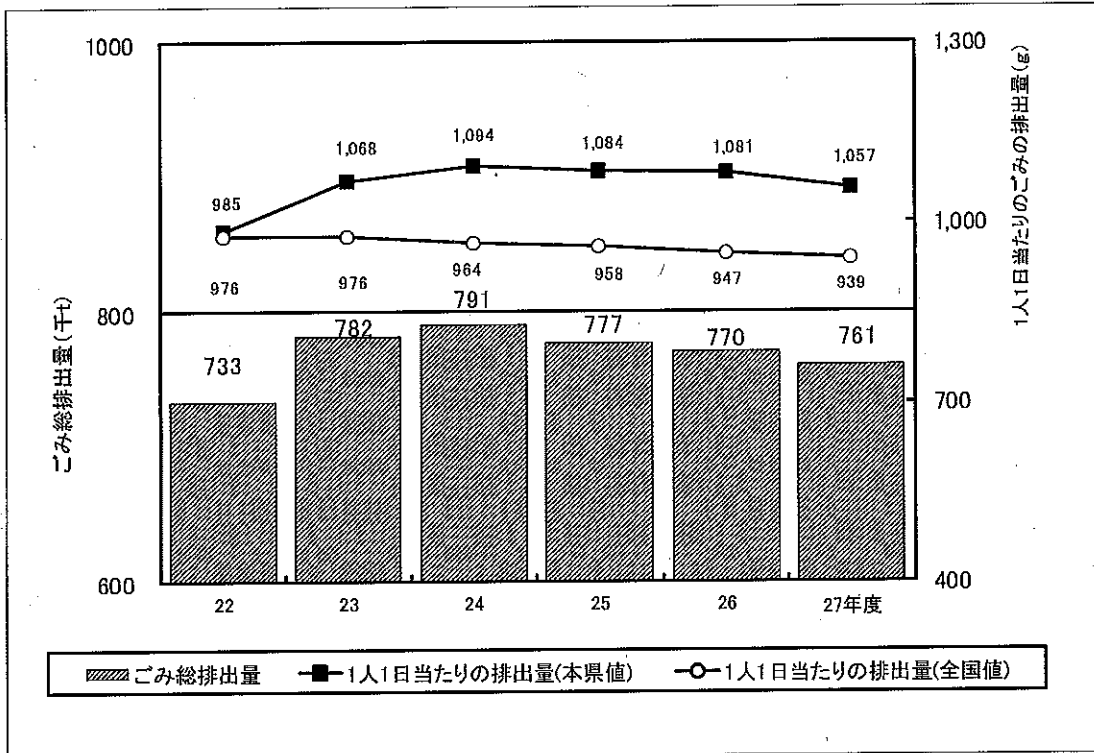


図-1 ごみの排出量の推移

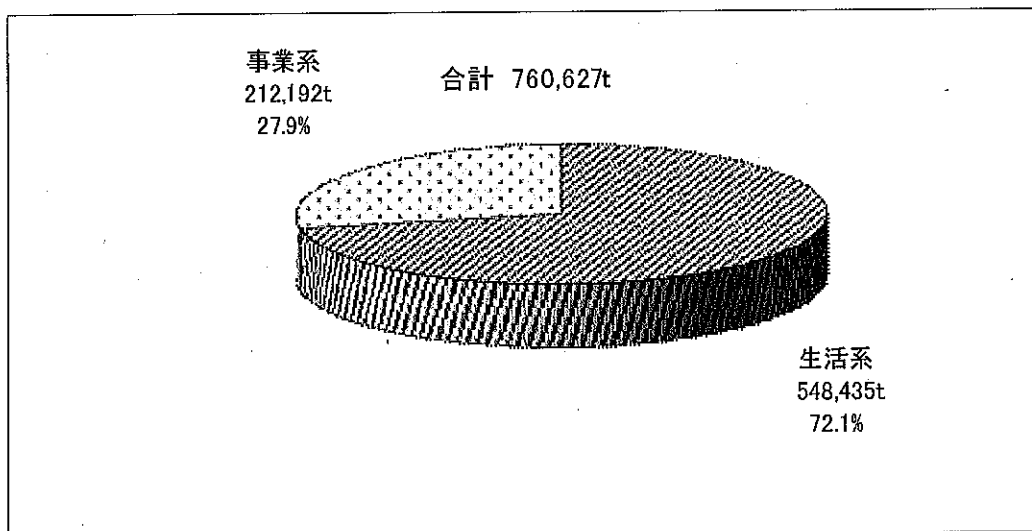


図-2 生活系ごみと事業系ごみの排出割合

○ 市町村別1人1日当たりのごみ排出量の状況

平成26年度と比較して、1人1日当たりのごみ排出量が減少した市町村のランキングは表-6のとおりです。

また、人口規模別の1人1日当たりのごみ排出量が少ない市町村のランキングは表-7のとおりです。

平成26年度と比べ、平成27年度は多くの市町村で前年度よりも排出量が減少しています。

表-6 1人1日当たりのごみ排出量の対前年度比(単位:g)

順位	市町村名	対前年度比	H27年度	H26年度	順位	市町村名	対前年度比	H27年度	H26年度
1	棚倉町	-208	734	942	31	田村市	4	823	818
2	埴町	-124	818	942	32	猪苗代町	5	1,165	1,161
3	いわき市	-95	1,046	1,141	33	飯館村	7	29	22
4	会津若松市	-93	1,104	1,196	34	天栄村	7	901	894
5	矢祭町	-59	542	601	35	福島市	20	1,329	1,310
6	檜枝岐村	-54	1,154	1,208	36	川俣町	21	1,238	1,217
7	国見町	-52	1,076	1,128	37	大熊町	23	27	4
8	大玉村	-49	795	844	38	柳津町	25	774	749
9	黨岡町	-45	24	69	39	本宮市	26	932	905
10	新地町	-45	771	815	40	矢吹町	28	872	844
11	玉川村	-42	758	800	41	西会津町	29	741	712
12	浪江町	-39	9	48	42	小野町	29	834	805
13	南相馬市	-37	1,076	1,113	43	南会津町	30	1,158	1,128
14	鮫川村	-34	474	508	44	二本松市	33	942	910
15	桑折町	-32	1,146	1,178	45	湯川村	37	793	756
16	郡山市	-29	1,237	1,266	46	下郷町	39	1,057	1,018
17	伊達市	-28	1,108	1,136	47	会津美里町	42	991	950
18	須賀川市	-27	982	1,009	48	只見町	44	1,038	994
19	鏡石町	-25	851	876	49	広野町	44	1,002	958
20	白河市	-15	985	1,000	50	会津坂下町	50	888	839
21	金山町	-13	726	738	51	泉崎村	51	773	722
22	磐梯町	-12	959	971	52	葛尾村	57	138	80
23	古殿町	-7	672	679	53	西郷村	75	921	846
24	川内村	-5	487	492	54	平田村	78	736	658
25	相馬市	-4	1,139	1,143	55	三島町	86	968	882
26	浅川町	-2	845	847	56	昭和村	88	934	846
27	双葉町	0	1	0	57	北塩原村	103	1,246	1,143
28	石川町	1	864	863	58	中島村	119	646	528
29	喜多方市	3	989	986	59	檜葉町	260	622	363
30	三春町	3	947	943	※		汚染廃棄物対策指定地域		
					※		一部汚染廃棄物対策地域		

(注1) 対前年度比の数値は各年度の小数点第1位以下も含めたごみ排出量の差のため数値が合わない場合があります。

(注2) 対前年度比の数値が同じ場合の順位付けは端数により行っています。

表-7 1人1日当たりのごみの排出量(単位:g)

(1) 人口5万人以上
(10市)

順位	市町村名	排出量
1	二本松市	942
2	須賀川市	982
3	白河市	985
4	喜多方市	989
5	いわき市	1,046
6	南相馬市	1,076
7	会津若松市	1,104
8	伊達市	1,108
9	郡山市	1,237
10	福島市	1,329
	平均	1,144

(3) 人口5千人~1万人未満
(18町村)

順位	市町村名	排出量
1	双葉町	1
2	飯館村	29
3	矢祭町	542
4	楢葉町	622
5	中島村	646
6	古殿町	672
7	平田村	736
8	西会津町	741
9	玉川村	758
10	新地町	771
11	泉崎村	773
12	大玉村	795
13	埴町	818
14	浅川町	845
15	天栄村	901
16	広野町	1,002
17	下郷町	1,057
18	国見町	1,076
	平均	764

(5) 全市町村
(59市町村)

順位	市町村名	排出量
1	双葉町	1
2	浪江町	9
3	富岡町	24
4	大熊町	27
5	飯館村	29
6	葛尾村	138
7	鮫川村	474
8	川内村	487
9	矢祭町	542
10	楢葉町	622
11	中島村	646
12	古殿町	672
13	金山町	726
14	棚倉町	734
15	平田村	736
16	西会津町	741
17	玉川村	758
18	新地町	771
19	泉崎村	773
20	柳津町	774
21	湯川村	793
22	大玉村	795
23	埴町	818
24	田村市	823
25	小野町	834
26	浅川町	845
27	鏡石町	851
28	石川町	864
29	矢吹町	872
30	会津坂下町	888
31	天栄村	901
32	西郷村	921
33	本宮市	932
34	昭和村	934
35	二本松市	942
36	三春町	947
37	磐梯町	959
38	三島町	968
39	須賀川市	982
40	白河市	985
41	喜多方市	989
42	会津美里町	991
43	広野町	1,002
44	只見町	1,038
45	いわき市	1,046
46	下郷町	1,057
47	南相馬市	1,076
48	国見町	1,076
49	会津若松市	1,104
50	伊達市	1,108
51	相馬市	1,139
52	桑折町	1,146
53	檜枝岐村	1,154
54	南会津町	1,158
55	猪苗代町	1,165
56	郡山市	1,237
57	羽根町	1,238
58	北塩原村	1,246
59	福島市	1,329
	平均	1,057

(2) 人口1万人~5万人未満
(19市町村)

順位	市町村名	排出量
1	浪江町	9
2	富岡町	24
3	大熊町	27
4	棚倉町	734
5	田村市	823
6	小野町	834
7	鏡石町	851
8	石川町	864
9	矢吹町	872
10	会津坂下町	888
11	西郷村	921
12	本宮市	932
13	三春町	947
14	会津美里町	991
15	相馬市	1,139
16	桑折町	1,146
17	南会津町	1,158
18	猪苗代町	1,165
19	羽根町	1,238
	平均	938

(4) 人口5千人未満
(12町村)

順位	市町村名	排出量
1	葛尾村	138
2	鮫川村	474
3	川内村	487
4	金山町	726
5	柳津町	774
6	湯川村	793
7	昭和村	934
8	磐梯町	959
9	三島町	968
10	只見町	1,038
11	檜枝岐村	1,154
12	北塩原村	1,246
	平均	845

※ 汚染廃棄物対策指定地域
 ※ 一部汚染廃棄物対策地域

【参考】

全国平均 939g/人・日

- 1位 徳島県神山町 272.2g/人・日
- 2位 奈良県野迫川村 298.3g/人・日
- 3位 長野県南牧村 325.6g/人・日

(注) 太字は、生活系可燃ごみの有料化を実施している27市町村

○ 有料化の実施とごみ排出量の関係について

本県では、生活系可燃ごみの有料化は21市町村で実施されていますが、ごみ処理有料化の実施とごみの排出量の関係については、表-8のとおり、生活系可燃ごみの有料化を実施している市町村は未実施の市町村に比べ、1人1日当たりのごみ排出量(平均)が291g(25.7%)少なくなっています。

また、人口区分ごとにみても、同様の傾向となっています。(有料化実施市町村は、表7の太字部分及び第2編統計データ編「8 平成27年度ごみ処理手数料の状況(生活系)」を参照。)

表-8 有料化の実施の有無による1人1日当たりのごみ排出量

(単位:g)

	有料化実施	有料化未実施	差
排出量	842 (21)	1,133 (32)	-291
人口50,000人以上の市町村の排出量	988 (1)	1,151 (9)	-163
人口10,000~50,000人の市町村の排出量	862 (8)	1,072 (8)	-210
人口5,000~10,000人の市町村の排出量	688 (10)	894 (6)	-206
人口5,000人未満の市町村の排出量	481 (2)	944 (9)	-463

(注1)()内は市町村数

(注2)原発事故による避難のためごみの排出がない又は原発事故の影響でごみの排出量が事故前と比較して大幅に減少している町村のデータを除く。

(2) ごみの分別数の状況について

各市町村においては、容器包装リサイクル法が平成9年度から本格施行されたことなどにより分別収集が進んできています。

平成27年度の状況は表-9のとおりであり、分別数は19区分から1区分までとなっています。

表-9 ごみの分別数の状況

分別数	市町村名	市町村数
19	二本松市、本宮市、大玉村	3
18	檜枝岐村	1
17	石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、会津坂下町、三春町	7
16	国見町、鏡石町、猪苗代町、会津美里町、南相馬市、飯館村	6
15	田村市、小野町、天栄村、西会津町、磐梯町、新地町	6
14	伊達市、須賀川市、棚倉町、矢祭町、埴町、鮫川村、会津若松市、下郷町、南会津町、北塩原村、柳津町、三島町、いわき市	13
13	郡山市、桑折町、湯川村、只見町	4
12	福島市、白河市、相馬市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町	7
11	川俣町、昭和村	2
10	金山町	1
7	喜多方市、広野町、川内村	3
5	檜葉町、富岡町	2
2	葛尾村	1
1	大熊町、双葉町、浪江町	3

(注1) 分別数とはごみを出す住民に対し市町村が求める分別の数。よって、例えばアルミ缶とスチール缶を同じ袋で一括して出させている場合には、その後にごみ処理施設で分別している場合でも、分別数は1と数えています。

(注2) 合併した市町で地域により分別数が異なる場合は、最も人口が多い地域の分別数を採用して集計しました。

(3) ごみの処理状況について

平成27年度のごみ処理フローは、次頁の図-3のとおりです。

一般廃棄物処理施設で処理されたごみの総量は740,831 tで、このうち、直接焼却処理された量は640,445 t (86.4%)、粗大ごみ処理施設等での処理量は66,704 t (9.0%)となっています。

最終処分された量は72,538 tで、このうち、焼却等の中間処理後に最終処分された量が69,036 t (95.2%)、直接最終処分された量が3,502 t (4.8%)となっています。

総資源化量は107,109 tで、このうち、収集後に直接資源化された量が30,180 t (28.2%)、焼却施設や粗大ごみ処理施設等の廃棄物処理施設を経て資源化された量が49,478 t (46.2%)、集団回収量が27,451 t (25.6%)となっています。

処理人口等 (単位：千人)

処理系統図 (単位：t/年)

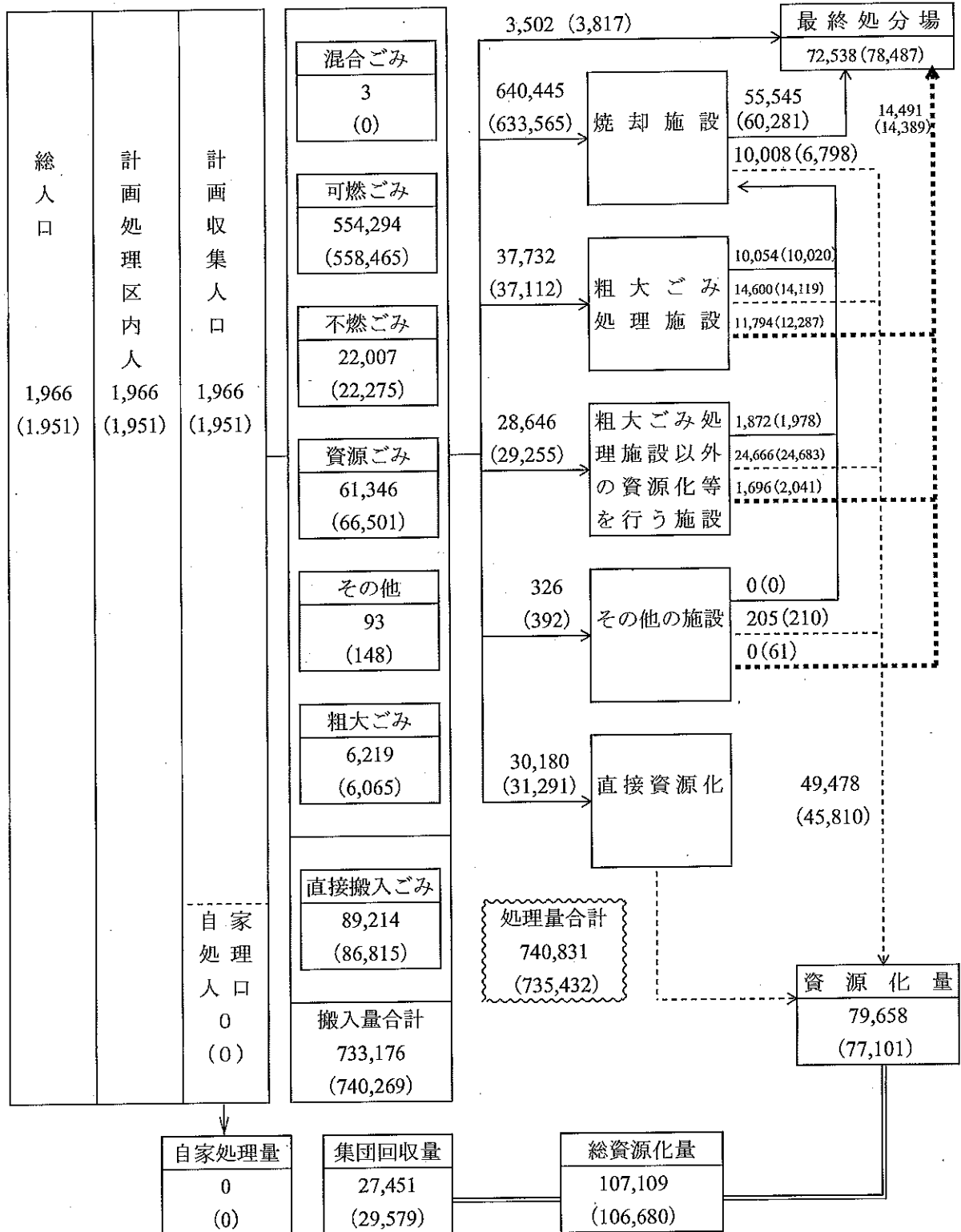


図-3 ごみ処理のフロー図

(注) () 内は平成26年度の実績

前年度搬入分を処理するなどの理由により、搬入量と処理量は一致しません。

(4) リサイクル率・資源化率について

リサイクル率は、平成24年度まで下降傾向となっておりましたが、平成25年度に増加に転じ、平成27年度は前年度と同率となっております。
 資源化率も、リサイクル率と同様の傾向となっております。

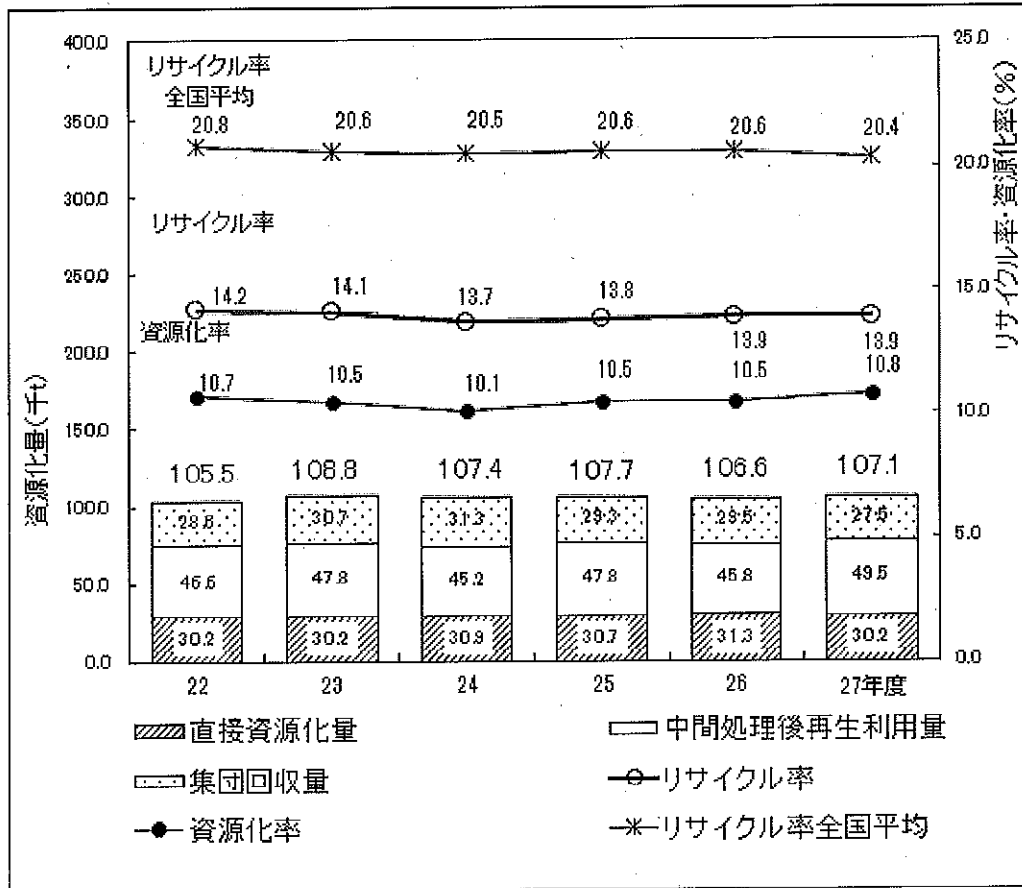


図-4 総資源化量とリサイクル率の推移

$$\text{資源化量} = (\text{直接資源化量}) + (\text{中間処理後の再生利用量})$$

$$\text{総資源化量} = (\text{直接資源化量}) + (\text{中間処理後の再生利用量}) + (\text{集団回収量})$$

$$\text{リサイクル率} = \frac{(\text{総資源化量})}{(\text{ごみ処理量}) + (\text{集団回収量})} \times 100$$

$$\text{資源化率} = \frac{(\text{資源化量})}{(\text{ごみ処理量})} \times 100$$

○ 市町村別リサイクル率の状況

人口規模別のリサイクル率の高い市町村のランキングは表-10のとおりです。

表-10 リサイクル率 (単位: %)

(1) 人口5万人以上
(10市)

順位	市町村名	リサイクル率
1	いわき市	21.9
2	二本松市	19.0
3	会津若松市	16.3
4	南相馬市	13.7
5	須賀川市	13.1
6	喜多方市	12.2
7	白河市	10.9
8	郡山市	10.9
9	伊達市	10.7
10	福島市	10.0
	平均	14.0

(3) 人口5千人~1万人未満
(18町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	飯館村	21.3
2	大玉村	19.3
3	矢祭町	15.2
4	国見町	14.1
5	泉崎村	13.1
6	新地町	12.7
7	下郷町	12.7
8	天栄村	12.6
9	玉川村	12.4
10	西会津町	12.3
11	塙町	11.8
12	古殿町	11.7
13	中島村	11.7
14	浅川町	10.7
15	平田村	10.5
16	広野町	3.3
17	檜葉町	0.2
	双葉町	0.0
	平均	12.0

(5) 全市町村
(59市町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	檜枝岐村	43.2
2	いわき市	21.9
3	三春町	21.7
4	飯館村	21.3
5	大玉村	19.3
6	二本松市	19.0
7	本宮市	17.6
8	田村市	17.4
9	昭和村	17.4
10	会津坂下町	17.1
11	猪苗代町	16.5
12	会津若松市	16.3
13	西郷村	15.2
14	矢祭町	15.2
15	桑折町	14.9
16	鮫川村	14.7
17	鏡石町	14.3
18	湯川村	14.3
19	国見町	14.1
20	会津美里町	13.8
21	南相馬市	13.7
22	泉崎村	13.1
23	須賀川市	13.1
24	相馬市	13.0
25	新地町	12.7
26	下郷町	12.7
27	棚倉町	12.7
28	天栄村	12.6
29	小野町	12.5
30	玉川村	12.4
31	西会津町	12.3
32	喜多方市	12.2
33	南会津町	12.0
34	塙町	11.8
35	古殿町	11.7
36	中島村	11.7
37	只見町	11.0
38	白河市	10.9
39	郡山市	10.9
40	三島町	10.8
41	浅川町	10.7
42	伊達市	10.7
43	平田村	10.5
44	石川町	10.3
45	福島市	10.0
46	川俣町	7.9
47	川内村	7.7
48	北塩原村	7.4
49	矢吹町	6.8
50	柳津町	6.6
51	金山町	6.2
52	磐梯町	4.9
53	葛尾村	4.1
54	広野町	3.3
	檜葉町	0.2
	富岡町	0.0
	大熊町	0.0
	双葉町	0.0
	浪江町	0.0
	平均	13.9

(2) 人口1万人~5万人未満
(19市町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	三春町	21.7
2	本宮市	17.6
3	田村市	17.4
4	会津坂下町	17.1
5	猪苗代町	16.5
6	西郷村	15.2
7	桑折町	14.9
8	鏡石町	14.3
9	会津美里町	13.8
10	相馬市	13.0
11	棚倉町	12.7
12	小野町	12.5
13	南会津町	12.0
14	石川町	10.3
15	川俣町	7.9
16	矢吹町	6.8
	大熊町	0.0
	富岡町	0.0
	浪江町	0.0
	平均	14.3

(4) 人口5千人未満
(12町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	檜枝岐村	43.2
2	昭和村	17.4
3	鮫川村	14.7
4	湯川村	14.3
5	只見町	11.0
6	三島町	10.8
7	川内村	7.7
8	北塩原村	7.4
9	柳津町	6.6
10	金山町	6.2
11	磐梯町	4.9
12	葛尾村	4.1
	平均	10.5

※ 汚染廃棄物対策指定地域
 ※ 一部汚染廃棄物対策地域

【参考】

- 全国ベスト3
 1位 鹿児島県大崎町 83.2%
 2位 徳島県上勝町 79.5%
 3位 鹿児島県志布志市 76.1%

(5) 最終処分場埋立量について

平成27年度の最終処分量は72.5千tと減少しており、前年度の78.5千tと比較すると6千t減少しています。(1日当たりでは16.4tの減少)

また、直接最終処分量も3.5千tと減少しており、前年度の3.8千tと比較すると0.3千tの減少となっています。

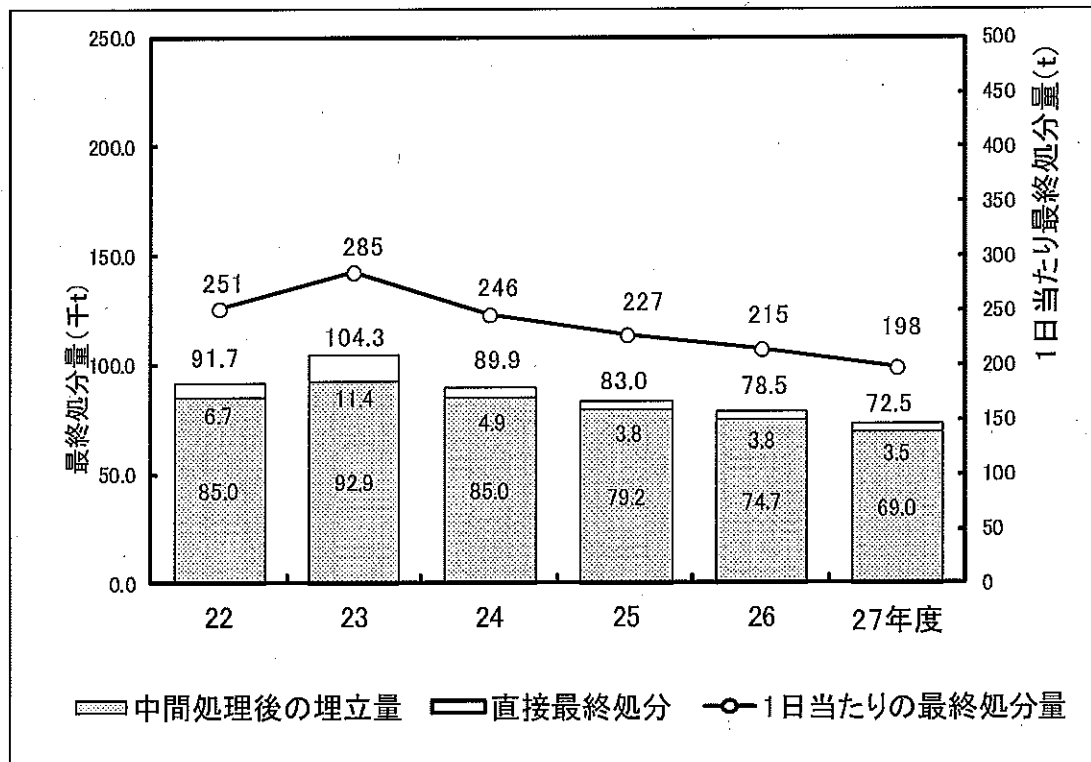


図-5 最終処分量と1日当たりの最終処分量の推移

表-11 ごみ処理の推移

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
a 総人口(人)	2,039,345	2,001,202	1,979,964	1,963,872	1,951,179	1,966,221	
b 計画処理区域内人口(人)	2,039,345	2,001,202	1,979,964	1,963,872	1,951,179	1,966,221	
c 計画収集人口(人)	2,039,345	2,001,202	1,979,964	1,963,872	1,951,179	1,966,221	
d 自家処理人口(人)	0	0	0	0	0	0	
e ごみ処理事業経費(千円)	18,581,156	20,512,037	21,052,093	21,289,535	22,095,320	28,160,369	
f 建設改良費(千円)	997,256	2,165,024	1,650,126	880,083	1,525,429	7,279,283	
g 処理及び施設維持管理経費(千円)	17,154,952	18,005,927	18,562,074	19,153,910	18,931,252	19,889,454	
h その他(千円)	428,948	341,086	839,893	1,255,542	1,638,639	1,191,632	
i 1人当たりの処理事業経費(円)	9,111	10,250	10,633	10,841	11,324	14,322	
j 1人当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	8,412	8,998	9,375	9,753	9,702	10,014	
k 1人当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	23,958	24,226	24,625	25,546	25,742	26,578	
l ごみ総排出量(t/年)	733,364	782,473	790,574	777,051	769,848	760,627	
m 1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	985	1,068	1,094	1,084	1,081	1,057	
n 計画収集量(t/年)	704,728	751,743	759,257	747,785	740,269	733,176	
o 収集ごみ量(t/年)	646,441	670,389	662,068	658,322	653,454	643,962	
p 直接搬入量(t/年)	58,287	81,354	97,189	89,463	86,815	89,214	
q 生活系ごみ搬入量(t/年)	507,333	549,636	536,830	534,282	528,396	520,984	
r 事業系ごみ搬入量(t/年)	197,395	202,107	222,427	213,503	211,873	212,192	
s 自家処理量(t/年)	0	0	0	0	0	0	
t ごみ処理量(t/年)	716,037	743,240	753,780	749,789	735,432	740,831	
u 直接焼却量(t/年)	609,443	620,108	641,444	640,065	633,565	640,445	
v 直接埋立量(t/年)	6,678	11,360	4,943	3,786	3,817	3,502	
w 資源化等の中間処理量(t/年)	69,626	81,546	76,488	75,276	66,759	66,704	
x 直接資源化量(t/年)	30,290	30,226	30,915	30,662	31,291	30,180	
y 資源化量(t/年)	76,867	78,053	76,084	78,412	77,101	79,658	
z 集団回収量(t/年)	28,636	30,730	31,317	29,266	29,579	27,451	
aa 資源化率(%)	10.7	10.5	10.1	10.5	10.5	10.8	
ab リサイクル率(%)	14.2	14.1	13.7	13.8	13.9	13.9	
ac 1日当たりの最終処分量(t/日)	251	285	246	227	215	198	
全国	1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	976	976	964	958	947	939
	資源化率(%)	15.7	15.5	15.5	15.8	15.8	15.8
	リサイクル率(%)	20.8	20.6	20.5	20.6	20.6	20.4

(注) $i = (e/b) \times 1,000$

$j = (g/b) \times 1,000$

$k = (g/t) \times 1,000$

$l = n + z$

$m = (l/b/365) \times 1,000,000$ ※平成23年度及び平成27年度は「365」を「366」として計算した。

$n = q + r$

$aa = (y/t) \times 100$

$ab = (y+z)/(t+z) \times 100$

3 福島県のし尿処理の状況

(1) 水洗化の状況について

平成27年度の水洗化率は89.8%で、うち下水道による水洗化率は46.5%、浄化槽及びコミュニティプラント(コミプラ)による水洗化率は43.3%となっています。

(P20 参照)

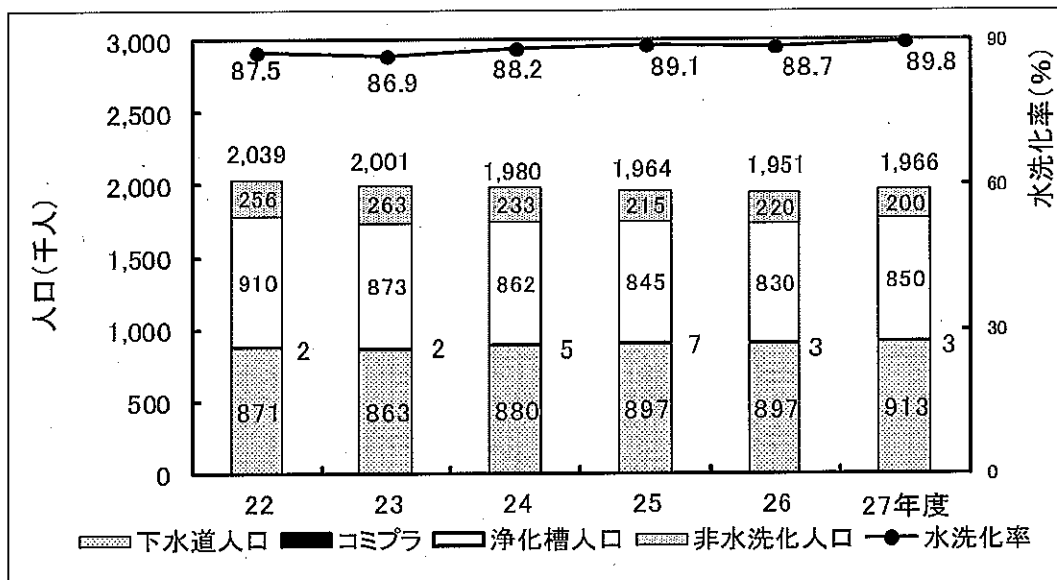


図-6 水洗化人口等の推移

(2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について

平成27年度のし尿及び浄化槽汚泥の排出量は607,971 kℓで、前年度の598,961 kℓと比較すると9,010 kℓ増加しています。

また、処理方式別に見ると、し尿処理施設等における処理量は555,742 kℓ(91.4%)、下水道投入等が51,196 kℓ(8.4%)、自家処理量が973 kℓ(0.1%)となっています。

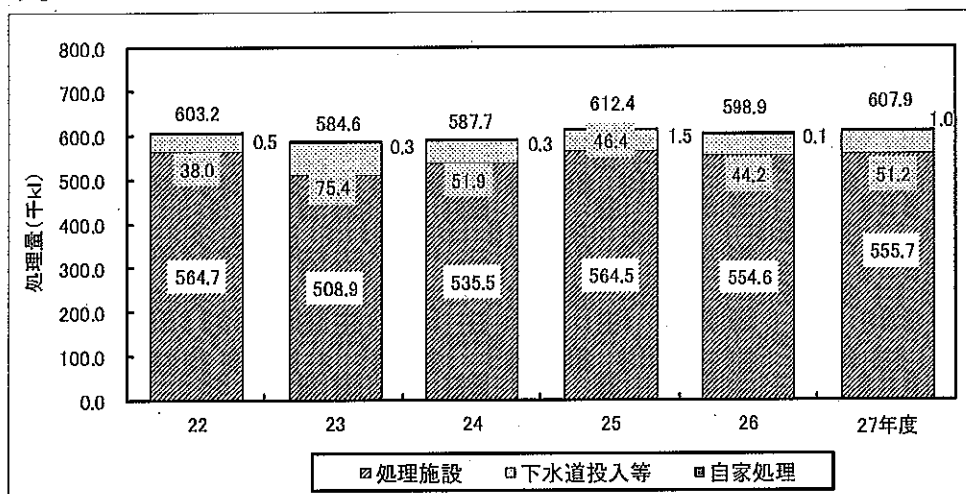


図-7 し尿及び浄化槽汚泥の処理状況

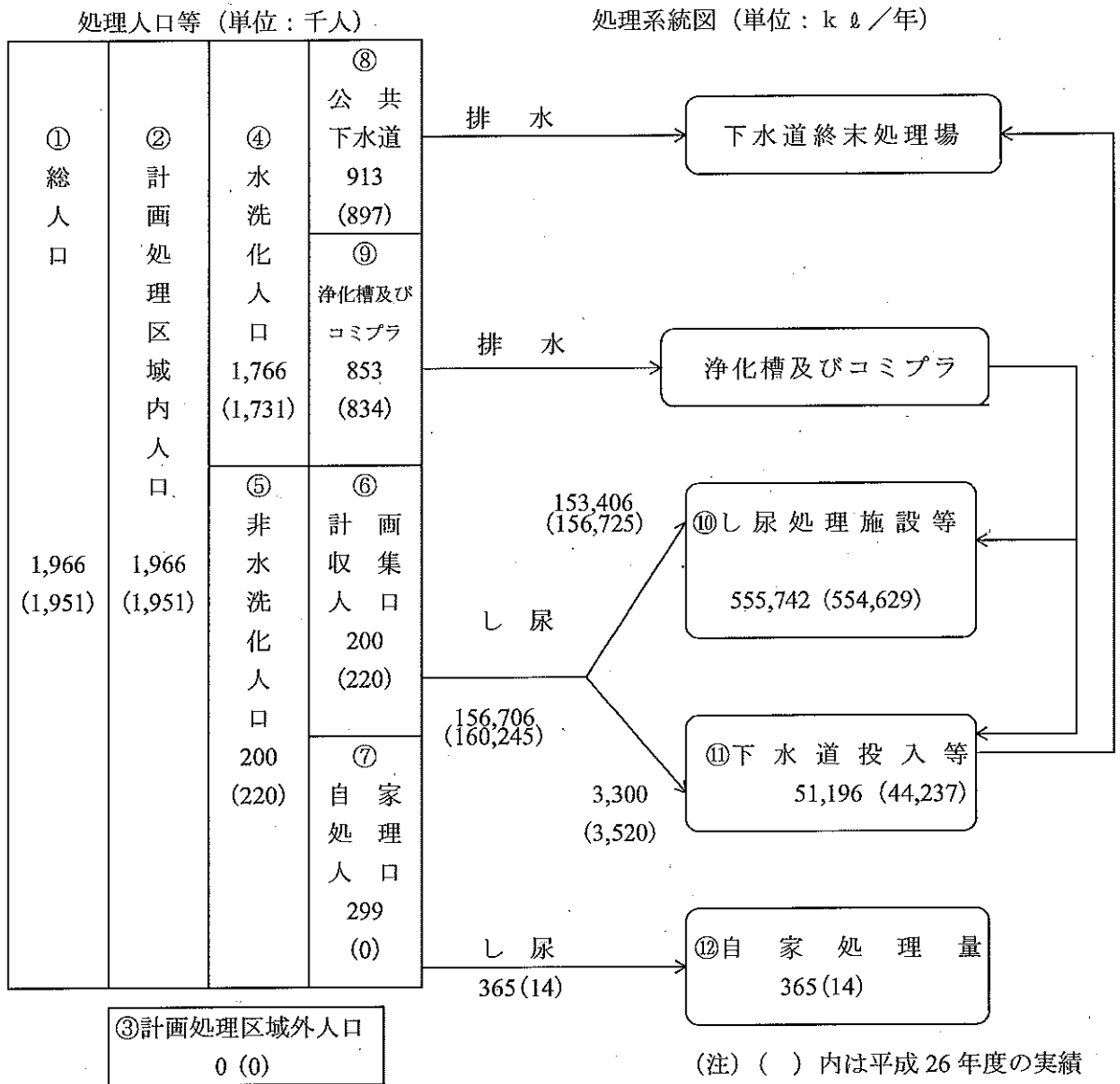


図-8 し尿処理のフロー図

表-12 し尿処理の推移

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
a 総人口(人)①	2,039,345	2,001,202	1,979,964	1,963,872	1,951,179	1,966,221
b 計画処理区域内人口(人)②	2,039,345	2,001,202	1,979,964	1,963,872	1,951,179	1,966,221
c 水洗化率(%)	87.5	86.9	88.2	89.1	88.7	89.8
d 水洗化人口(人)④	1,783,469	1,738,459	1,747,303	1,749,237	1,730,999	1,766,202
e 公共下水道人口(人)⑧	871,038	863,659	879,940	897,303	897,444	913,603
f コミュニティプラント人口(人)⑨	2,627	2,631	5,249	6,970	2,817	2,877
g 浄化槽人口(人)⑩	909,804	872,169	862,114	844,964	830,738	849,722
h 合併処理浄化槽人口(人)	488,291	450,388	481,306	494,402	492,743	497,423
i 非水洗化率(%)	12.5	13.1	11.8	10.9	11.3	10.2
j 非水洗化人口(人)⑤	255,876	262,743	232,661	214,635	220,180	200,019
k 計画収集人口(人)⑥	254,654	261,861	231,709	214,067	219,925	199,720
l 自家処理人口(人)⑦	1,222	882	952	568	255	299
m 計画処理区域内のし尿排出量(kl/年)	603,235	584,628	587,551	612,357	598,961	607,971
n し尿処理量(kl/年)	603,235	584,628	587,739	612,357	598,961	607,971
o 計画処理量(t/年)	602,717	584,312	587,450	610,876	598,947	606,998
p し尿処理施設(kl/年)	564,705	508,911	535,551	564,493	554,629	555,742
q ごみ堆肥化施設(kl/年)	0	0	0	0	81	60
r 下水道投入(kl/年)	38,012	75,310	51,751	46,383	44,237	51,196
s 農地還元(kl/年)	0	9	0	0	0	0
t その他(kl/年)	0	82	148	0	0	0
u 自家処理量(kl/年)	518	316	289	1,481	14	973

(注) $c=(d/b) \times 100$
 $i=(j/b) \times 100$

(対総人口ベース)

計画区域率 ②/①=100.0%(100.0%)	公共下水道水洗化率 ⑧/①= 46.5%(46.0%)
水洗化率 ④/①= 89.8%(88.7%)	浄化槽及びコミプラ水洗化率 ⑨/①= 43.4%(42.7%)
非水洗化率 ⑤/①= 10.2%(11.3%)	(対非水洗化人口)
計画収集率 ⑥/①= 10.2%(11.3%)	計画収集率 ⑥/⑤= 99.9%(99.9%)
自家処理率 ⑦/①= 0.0%(0.0%)	自家処理率 ⑦/⑤= 0.1%(0.1%)

(3) 浄化槽の設置状況について

新設浄化槽基数は表-13のとおり平成22年度以降は増加傾向にあり、平成26年度は減少に転じましたが、平成27年度は前年度の新規設置基数を682基上回る、5,217基（対前年度比115.0%）となっています。

また、浄化槽設置基数の推移については、次頁の図-9のとおり、平成14年度をピークに減少に転じており、その後平成17年度以降は横ばい傾向となっています。

平成27年度の浄化槽設置基数は275,540基で、そのうち単独処理浄化槽が162,778基と59%を占めています。

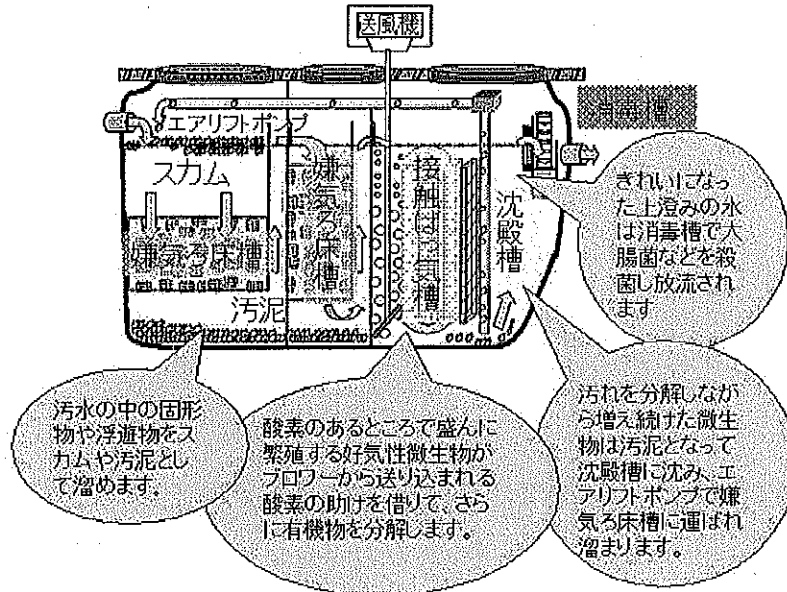
表-13 年度別新規設置基数

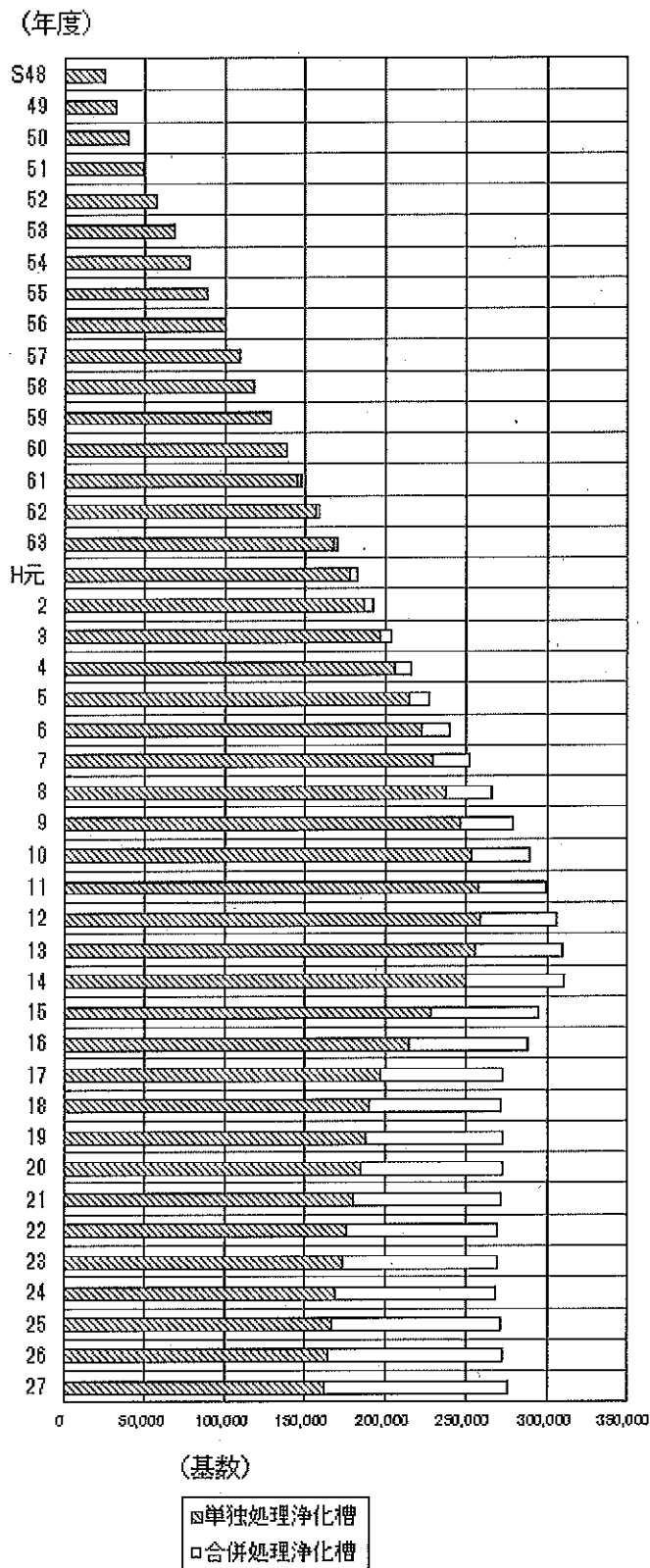
年度	22	23	24	25	26	27
基数	3,644	4,383	4,434	4,856	4,535	5,217

表-14 平成27年度末人槽別設置基数

人槽規模	5~20	21~100	101~200	201~500	501~	合計
基数	254,990	17,572	1,498	1,061	419	275,540

〈参考〉浄化槽のしくみ（嫌気ろ床接触ばっ気方式の例）





年度	单独处理净化槽	合併处理净化槽	合計
昭和48	25,460		25,460
49	32,182		32,182
50	40,186		40,186
51	48,330		48,330
52	58,369		58,369
53	68,776		68,776
54	78,329		78,329
55	88,769		88,769
56	100,090		100,090
57	109,812		109,812
58	118,967		118,967
59	128,446		128,446
60	138,273		138,273
61	145,912	2,046	147,958
62	156,964	2,372	159,336
63	167,651	2,953	170,604
平成元	177,978	4,064	182,042
2	187,183	5,430	192,613
3	196,843	7,339	204,182
4	206,038	9,735	215,773
5	214,787	13,242	228,029
6	222,965	17,419	240,384
7	230,299	22,023	252,322
8	237,607	27,917	265,524
9	246,635	32,455	279,090
10	253,293	36,483	289,776
11	257,421	42,022	299,443
12	259,037	47,355	306,392
13	255,162	54,694	309,856
14	250,030	60,957	310,987
15	228,431	66,518	294,949
16	215,641	72,275	287,916
17	196,915	75,480	272,395
18	190,947	80,266	271,213
19	187,916	84,262	272,178
20	184,988	87,271	272,259
21	180,519	90,508	271,027
22	176,165	92,821	268,986
23	173,160	96,139	269,299
24	168,618	99,489	268,107
25	166,749	104,382	271,131
26	164,583	108,247	272,830
27	162,778	112,762	275,540

図-9 浄化槽設置基数の推移